

【履歴抽出カード 取扱説明書】

JOIFA609



この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は、製品の使い方と使用上の注意を記載していますので、ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。また、その後はこの説明書を大切に保管して下さい。

使用上のご注意

- ・カードは 1 枚ずつご使用ください。2 枚以上のカードや種類の異なるカードを重ねて使用した場合、通信機能に問題が生じて認識できない場合があります。
- ・IC 錠やカードに金属を近づけた状態で使用しないで下さい。
- ・直射日光や暖房器具など熱が直接当たる場所や湿気及び乾燥の著しい場所での使用、保管、放置は避けて下さい。変形や反りなどによって品質低下および誤作動の可能性があります。
- ・カードを折り曲げたり衝撃を与えたりしないで下さい。破損して使用できなくなる場合があります。
- ・履歴機能は、あくまで過去の動作を調べる時の参考程度にご使用ください。
- ・本製品やパソコンの不具合により履歴データが保存できなかった場合または履歴データが破損した場合、履歴データの内容の保証は致しかねます。ご容赦ください。

履歴プログラムのインストール

お客様に用意していただくもの

- インターネットにつながる環境が必要です。



パソコン(USBポート付)



通信用USBハーネス(A - micro-B)

《インストールの前に》

- 他のすべてのプログラムを終了させてください。
- セキュリティソフト（アンチウイルスソフト、ファイアウォールソフトなど）を一時的に終了させることを推奨します。
- 企業のパソコンにプログラムをインストールする場合は、システム管理者やセキュリティ管理者にご確認ください。

パソコン	IBM PC/AT互換機 ・CPU：PentiumⅢ 450MHz以上 ・ハードディスクの空き容量：1GB以上を推奨 ・RAM：512MB以上 ・USBポート（USB2.0 TypeA） ※注3	OS	Windows7以降（7/8/8.1/10）日本語版のみ
		ディスプレイ	解像度 1280×720以上

注1)上記要件のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

注2)すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ、ハイパーネーションでの動作を保証するものではありません。

注3)セキュリティソフト等によるUSBポートの通信規制や遮断が行われていないこと（不明な場合はシステム管理者もしくはセキュリティ管理者にご確認ください）。

「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のインストール

- ① オプナスホームページ（ダウンロードページ）<http://www.opnus.co.jp/support/download/>にアクセスし、「OPNUS時計履歴管理プログラム.zip」をダウンロードします。（「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」はWindows版のみです。）
- ② ダウンロードしたプログラム(zipファイル)をダブルクリックして展開します。
展開した「OPNUS時計履歴管理」フォルダをパソコンの「C:¥Program Files」フォルダ内にコピーしてください。
- ③ 「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「CDM21224_Setup.exe」を実行してください。
（CDM21224_Setup.exe は錠をパソコンに認識させるデバイスドライバです）
- ④ 「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「OPNUS時計履歴管理.exe」のショートカットをデスクトップ上に作成してください。
※ショートカット作成は必須ではありません。



※「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」の最新情報と、詳しいインストール方法（インストールマニュアル）は、
<http://www.opnus.co.jp/support/download/>にアクセスし、ご覧ください。

※バージョン毎に画面表示やデザイン・機能が変更になる場合があります。ご了承ください。

履歴についての注意事項

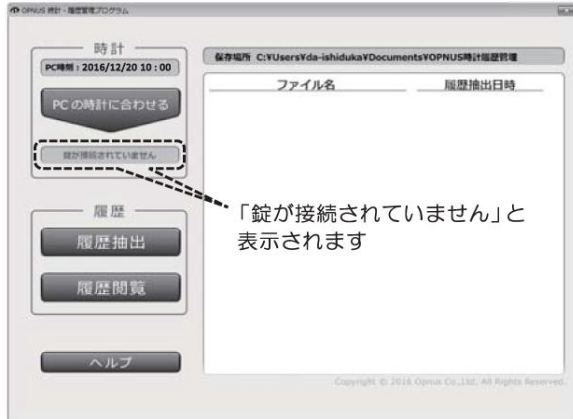
- 本製品やパソコンの不具合により履歴データが保存できなかった場合または履歴データが破損した場合、履歴データの内容の保証は致しかねます。ご容赦ください。
- パソコンの時刻で錠の時刻合わせをおこなっています。パソコンの時刻がずれていると正確な時刻の履歴がとれませんのでご注意ください。
- 電池交換をしたときは、必ず錠の時刻合わせをおこなってください。 ●履歴ファイルは、厳重に管理してください。
- 使用履歴を印刷するときは、マイクロソフト社の表計算ソフトExcelがインストールされているパソコンを使い、履歴ファイルが保存されているフォルダから直接CSVファイルをひらいてください。

錠の初期設定について

初期設定

※無音で音量設定をしてもボリューム小で、確認音が鳴ります。

- ①パソコンのデスクトップにある「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動し、メインウィンドウを表示させます。



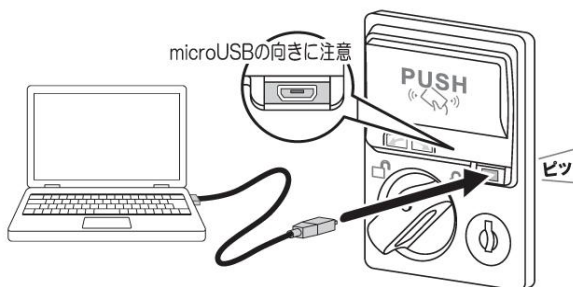
- ※「PCの時刻に合わせる」ボタンを押したときに「錠とPCをUSBハースで接続してください。」のサブウィンドウが表示されたら、USBハースの接続を確認してください。



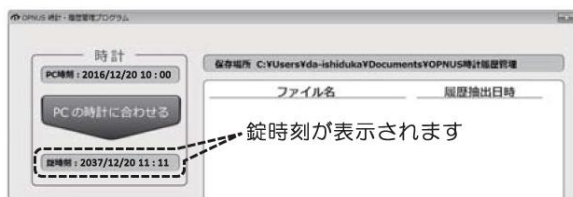
- ※「PCの時刻に合わせる」ボタンを押したときに「時刻合わせエラー発生」のサブウィンドウが表示されたら、表示内容の操作をおこなってください。



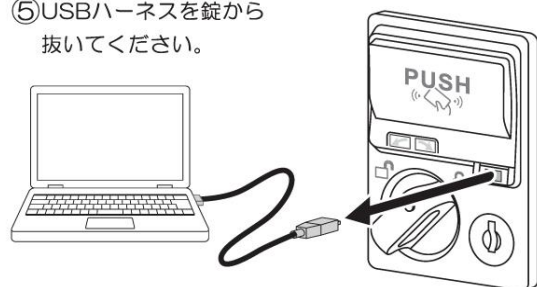
- ②パソコンと錠をUSBハースでつなぎます。正常につながるとプログラムに錠時刻が表示されます。※錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、microUSBの向きに注意して差し込んでください。



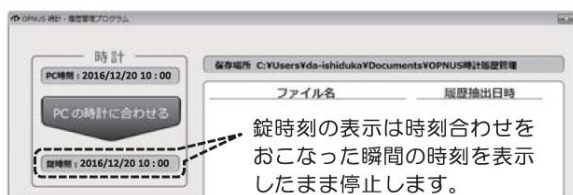
- ④プログラム右上の「閉」ボタンを押して終了してください。



- ⑤USBハースを錠から抜いてください。



- ③プログラムの「PCの時刻に合わせる」ボタンを押します。時刻合わせが終了するとブザーが「ピピッ」となります。



《注意》

時刻合わせ中は、錠のあけしめやUSBハースを抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

《注意》

パソコンと錠をUSBハースでつないでから、1分間錠の操作を何もしないと、錠がスリープモード(LEDの点滅後消灯)になります。その状態で、時刻合わせや履歴抽出をおこなう場合は、錠の起動ボタンを押してください。

履歴抽出方法

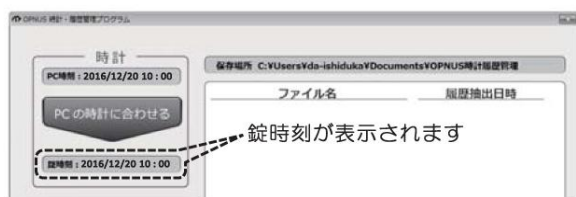
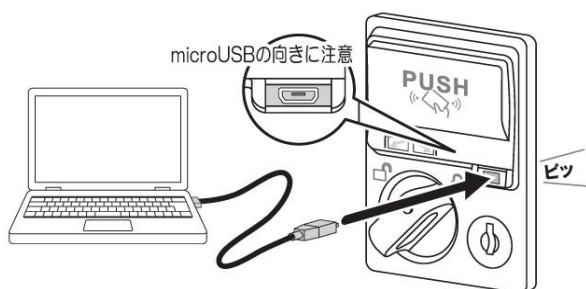
履歴抽出方法

※無音で音量設定をしてもボリューム小で、確認音が鳴ります。

- ①パソコンのデスクトップにある「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動します。



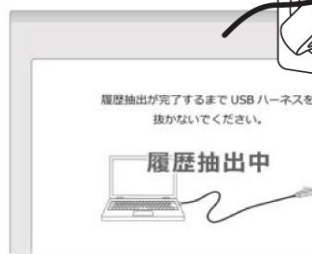
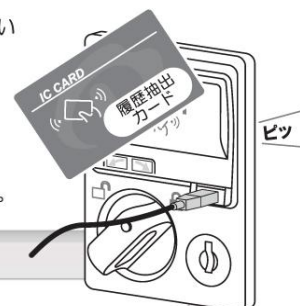
- ②パソコンと錠をUSBハーネスでつなぎます。
正常につながるとプログラムに錠時刻が表示されます。
※錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、microUSBの向きに注意して差し込んでください。



- ③「履歴抽出」ボタンを押すとサブウィンドウが開きます。



- ④サブウィンドウの指示に従い履歴抽出カードを錠にかざしてください。
履歴抽出がはじまります。
「履歴抽出中」のサブウィンドウが表示されます。



- 《注意》
履歴抽出中は、錠のあけしめやUSBハーネスを抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

- ※履歴抽出カードをかざしたときに「履歴抽出エラー発生」のサブウィンドウが表示されたら、表示内容の操作をおこなってください。



- ⑤履歴抽出が終了するとブザーが「ピピッ」となります。
※履歴抽出後自動的に時刻合わせがおこなわれます。



- 《注意》
時刻合わせ中は、錠のあけしめやUSBハーネスを抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

- ⑦プログラム右上の「閉」ボタンを押して終了、もしくは、履歴を閲覧するときは、次ページの②から操作をおこなってください。

《注意》

パソコンと錠をUSBハーネスでつないでから1分間錠の操作を何もしないと、錠がスリープモード(LEDの点滅後消灯)になります。その状態で履歴抽出をおこなう場合は、錠の起動ボタンを押してください。

履歴閲覧について

履歴閲覧方法

①パソコンのデスクトップにある「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動します。



②プログラムに履歴ファイルが表示されます。
※履歴ファイルは、錠とパソコンがUSBハースでつながっていても、つながってなくても閲覧可能です。



《ファイル名について》
例：01_123456_201606300830.CSV
01_123456 / 錠ID
201606300830 / 2016年06月30日 08時30分

※錠IDとは、商品に記録されている識別番号です。

③履歴を見たいファイルを選択して「履歴閲覧」ボタンを押します。



※履歴ファイルを選択せずに「履歴閲覧」ボタンを押すと、「履歴ファイルを選択してください。」のサブウィンドウが表示されます。



④サブウィンドウが開き履歴を閲覧できます。
※履歴保持件数：最大5,000件（古いものから削除）



《動作表記の意味》

- OPEN / 正常に解錠
- LOCK / 正常に施錠
- EOPEN / 解錠エラー
(ロック機構が正しく作動できず解錠したと判断できないとき)
- ELOCK / 施錠エラー
(ロック機構が正しく作動できず施錠したと判断できないとき)
- R ERR / ICキー読み取りエラー
(正しくICキーをかざさず、認証されなかったとき)
- T ERR / タイムアウトエラー
(次の操作を行わずに規定の時間が経過したとき)
- EXP H / 履歴抽出
- CHG V / ビジターモードへ変更
- CHG M / メンバーモードへ変更
- ICREG / IC登録
(メンバーモードにおいてICキーを登録したとき)
- ICDEL / IC削除
(メンバーモードにおいて登録したICキーを削除したとき)

※動作表記の意味は、READMEテキスト（ヘルプボタンを押す）の中にも記載されています。

⑤履歴の閲覧が終了しましたら、サブウィンドウの「OK」ボタンを押します。

⑥プログラム右上の「☒」ボタンを押して終了してください。

< 製造元 >



〒578-0948 東大阪市菱屋東2丁目1番29号
ホームページURL <https://www.seikofamily.co.jp>

お客様相談室 ☎ 0120-321-200